

昨年4月東京大学大学院入学式で元プリンストン大学工学部長の小林久志氏が来賓として講演をされた。40年来の友人でもある。修士課程に入学する学生に、博士課程は米国の一流大学を目指すことを強く勧めた。教授陣が優れ、講義が充実し、世界の優秀な学生が競っているからだという。列席する東大関係者がどう受け止めたか。驚いた学生も多かったようだ。講演原稿は小林氏のWebサイトにある。ぜひご一読いただきたい。

ノーベル化学賞が決まった根岸英一博士の第一声は「若者よ、海外に出よ」であった。中国、韓国、インドなどから米国への留学生が大幅に増えている中で、日本からの留学生はここ10年ほど、急速に減少している。Ph. D. 取得を目指す留学生を見てみよう。

米国では博士号取得者の50%以上が留学生だ。科学技術分野で見ると中国人が毎年4,000人以上、韓国、インド人が1,200人前後であるのに対し、日本人は200人程度にとどまっている。しかも、他国は年々増えている。WebにPh. D. 学生名簿があるスタンフォード大学、CMUのCS学科を見ても、CMUに1人の日本人学生がいるだけだ。

材料とか有機化学の分野なら、世界トップレベルの日本から、あえて留学する必要はないという理屈も立とうが、CSの分野では米国が圧倒的に世界をリードしている。将来研究者を目指すという学生がなぜ学位取得留学を考えないのか。学位取得留学が抜本的に増える必要があると考え、数年前に、現在理事をしている財団で学位取得留学を目指す学生への支援をはじめた。学位取得留学にはポスト留学とは異なる大きな価値があるはずだ。

以来多くの学生に会い、学位取得留学を目指す学生が少ない理由が分かった気がしている。裕福な日本に満足し、内向き志向になっているのだろうか。答えは否である。

海外に出るより、日本の大学の博士課程に進んだ方がリスクが少なく、将来希望する研究職に就ける確率が高いと考えている学生が多いからだ。与えられた環境でちゃんと自分の将来を計算している。

優秀な学生を国内にとどめている第一の環境は、

益田隆司 Takashi MASUDA

(船井情報科学振興財団)

[名誉会員] tak.masuda@gmail.com

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学。昭和63年東京大学理学部。平成7～9年理学部長。平成12年電気通信大学。平成16～20年学長。現在船井情報科学振興財団常任理事。Ph. D. 取得。日本人留学生支援。平成15～17年本会会長。

国の制度にある。日本学術振興会の特別研究員制度だ。毎年およそ2,000人が選考され、月に20万円のスカラシップを得る。特別研究員に選ばれることは価値あるキャリアとなる。問題はこの制度が日本の大学に限っていることだ。現状は、最も優秀な2,000人の学生の国内への囲い込みになっている。

学生の目が海外に向かないさらに大きな第二の環境は、海外でPh. D. を取得しても日本の大学、あるいは、民間企業がそれを積極的に評価しないことだ。日本の理工系の助教は自大学出身者が選ばれることが多いし、民間企業は、学位を取得しても修士プラス

[シニアコラム]

IT好き放題



[No.4]

若者が内向きなのではない

3年程度の処遇しかしない。中国、韓国等では、米国トップスクールでの学位が、母国で職を得る場合の有力なキャリアパスになっているのと対照的である。

この2つのことから考えても、日本で研究職に就きたいと考える学生が、出身大学の大学院で学位を目指そうという考えになるのは自然なことだ。

私がこの数年見た米国トップスクールでPh. D. を目指している理工系学生の多くは、はじめから海外に関心を持っており、Ph. D. 取得後もそのまま米国で仕事をしたいと考えている者が多い。

学位取得留学を目指す優秀な学生を増やすために2つのことを提案したい。第一は、特別研究員制度を抜本的に改革して、選考された学生は、日本の大学でも海外の大学でも自由に選べるようにすべきである。あるいは、その予算の一部を削ってでも、国費留学制度を創設すべきである。国は、一方で留学を抑えることになるような制度を継続しながら、他方で、毎年の科学技術白書では学位取得留学が少ないことを嘆いている。おかしなことだ。第二は、日本の大学に対する要望である。「国際化」の視点から、外国人教員を増やすことを目標に掲げている大学が多い。それよりもむしろ、国際化のためには、日本人であっても外国人であっても構わないので、海外大学でのPh. D. 取得者を増やすのがより実質的だ。

日本の優秀な学生が学位取得留学を目指し、海外で学んだ学生の多くが、また日本の大学、研究組織に戻りたくするような環境をつくる必要がある。

(平成23年1月31日受付)